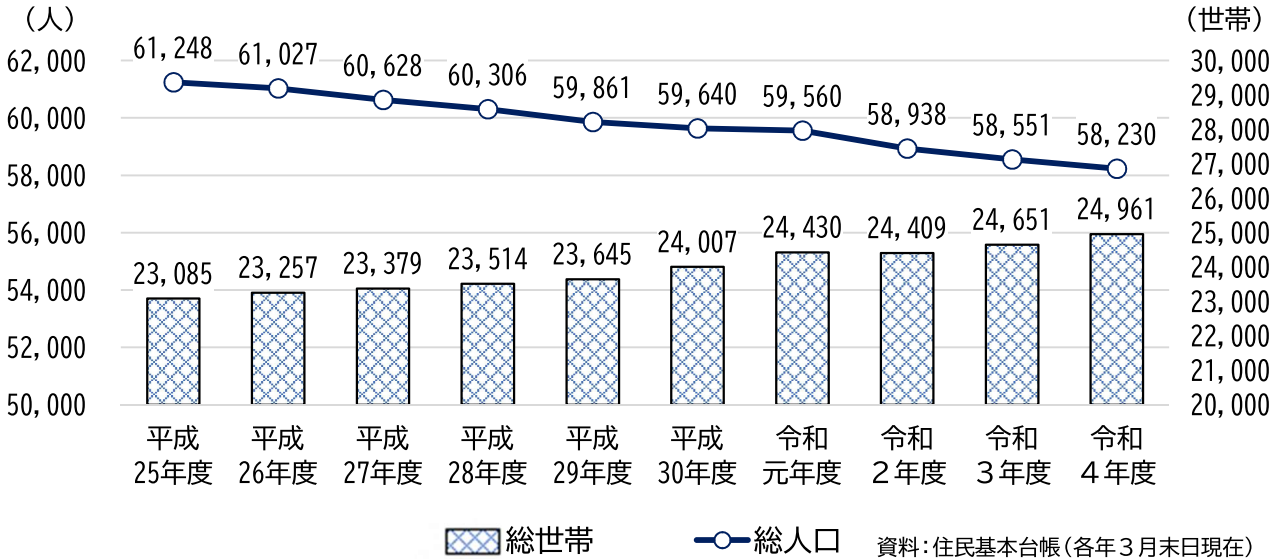


第2章 湖西市の現状

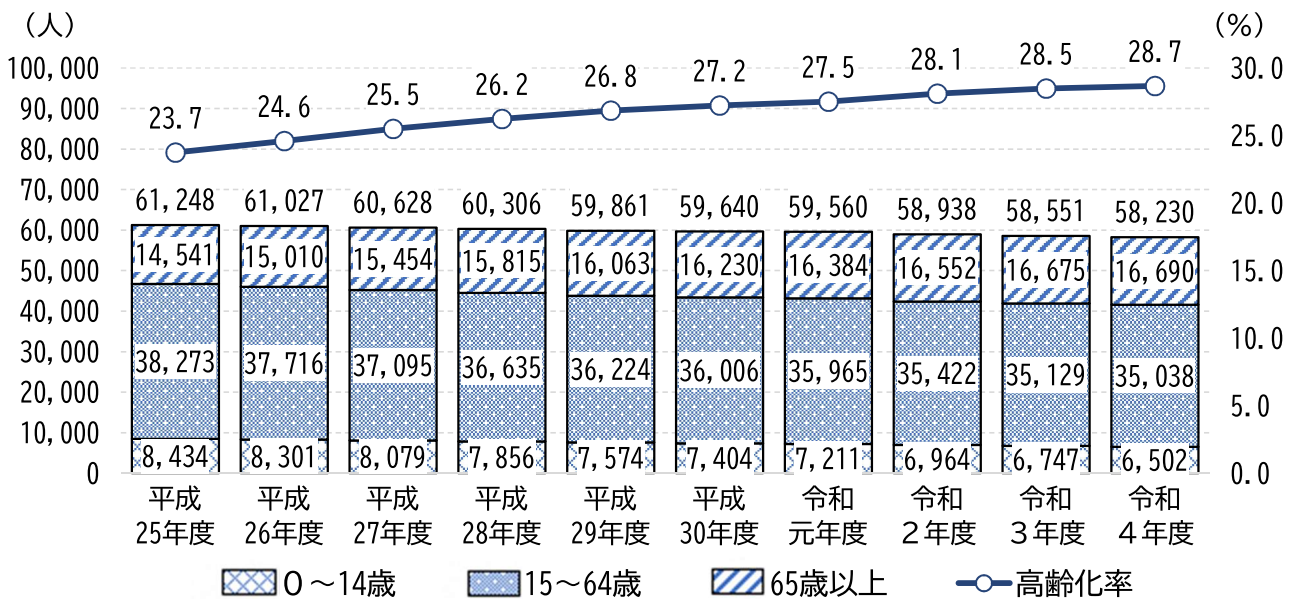
1 人口等の動向

(1) 総人口及び世帯数の推移 (図表2-1)



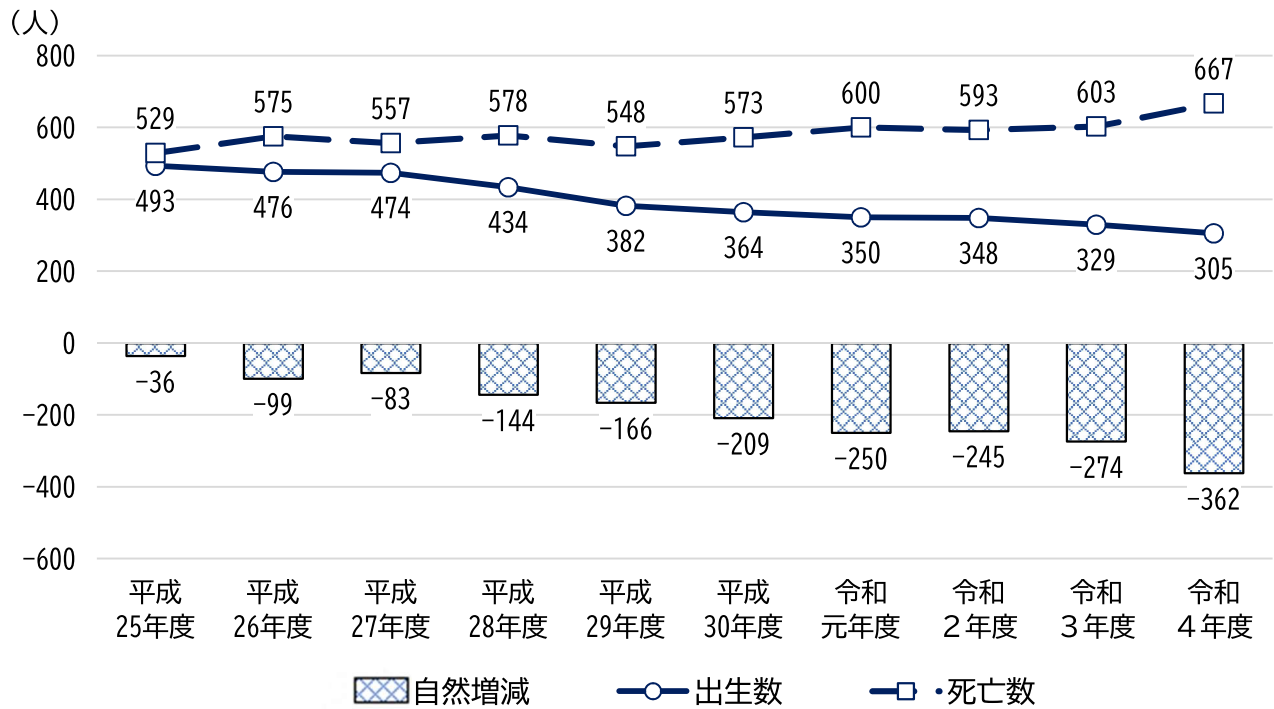
総人口は減少を続けており、令和4年度では58,230人となっています。一方、総世帯数は増加を続けており、令和4年度では24,961世帯となっています。

(2) 年齢別人口と高齢化率の推移 (図表2-2)



年齢別人口をみると、0~14歳、15~64歳は減少を続けている一方、65歳以上は増加を続けています。そのため、高齢化率は上昇し続けており、令和4年度では28.7%となっています。

(3) 自然動態（出生数・死亡数の推移）（図表2-3）



資料：人口当月表
 （出生数、死亡数は外国人市民含む）

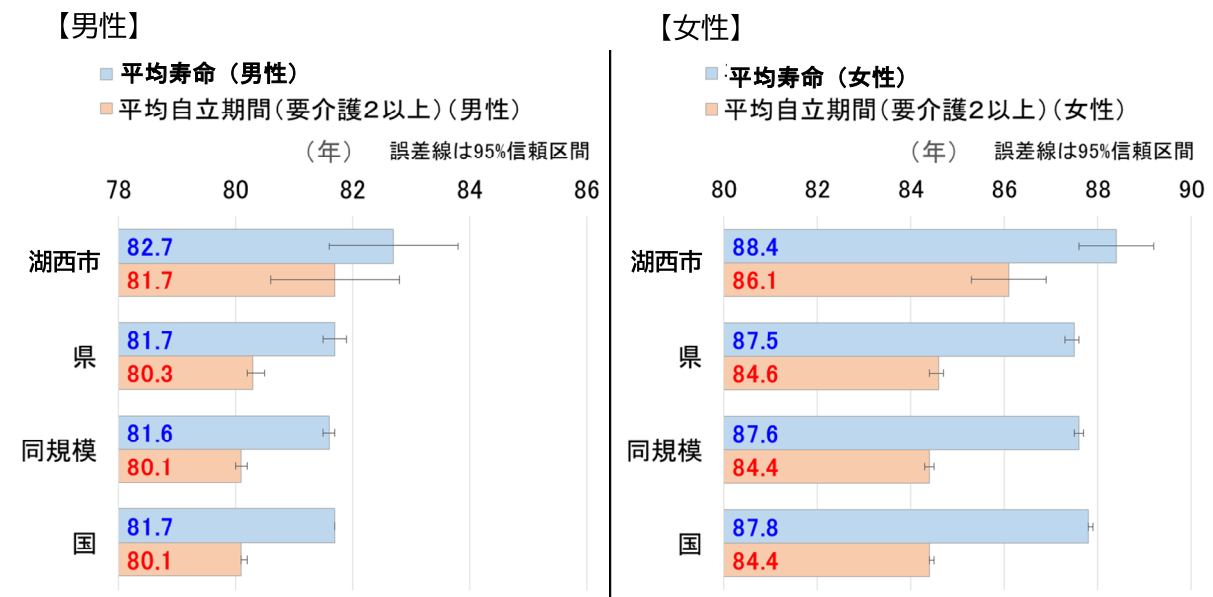
出生数は年々減少しており、令和4年度では305人となっています。

死亡数をみると、増減を繰り返しながらもおおむね横ばいで推移しており、令和4年度では667人となっています。

出生数から死亡数を引いた自然動態をみると、全ての年で死亡数が出生数を上回り、年々その差が拡大しています。令和4年度では死亡数が出生数を362人超過しています。

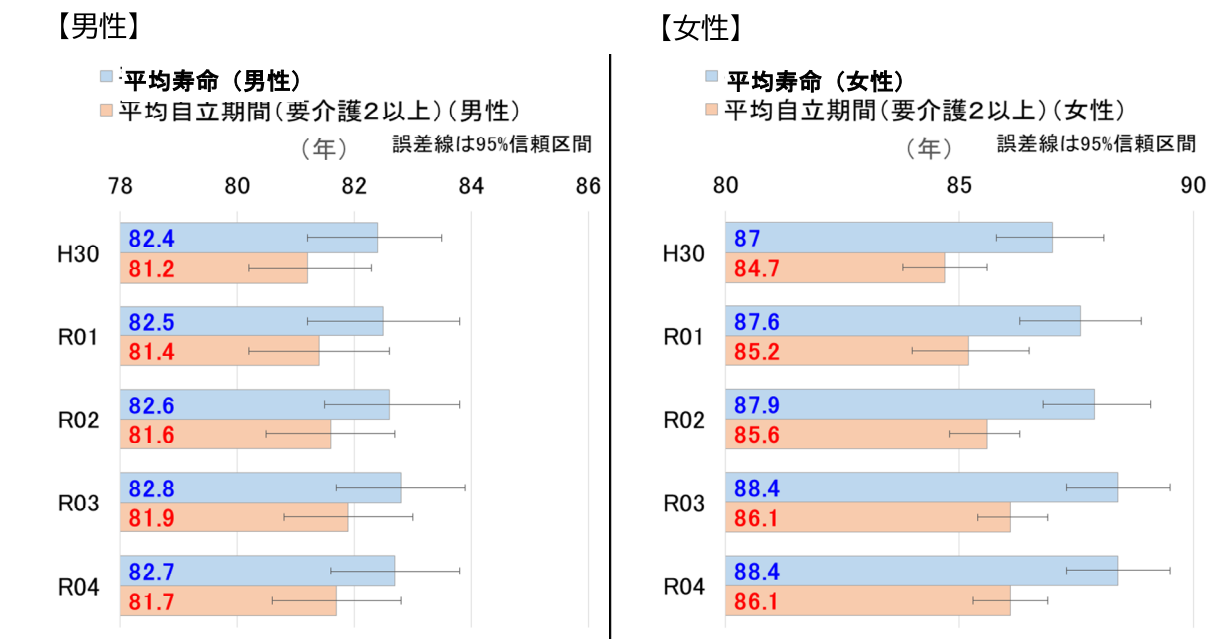
2 平均寿命と平均自立期間

【平均寿命¹・平均自立期間²（令和4年度分）（図表2-4）】



資料：KDBシステム「S21_001_地域の全体像の把握（R04年度分-R02.12月末介護受給者台帳等）」、
国立保健医療科学院ツール（健康寿命（平均自立期間）等の見える化ツール Ver. 2.0）

【平均寿命・平均自立期間（平成30年度～令和4年度）年次推移（図表2-5）】



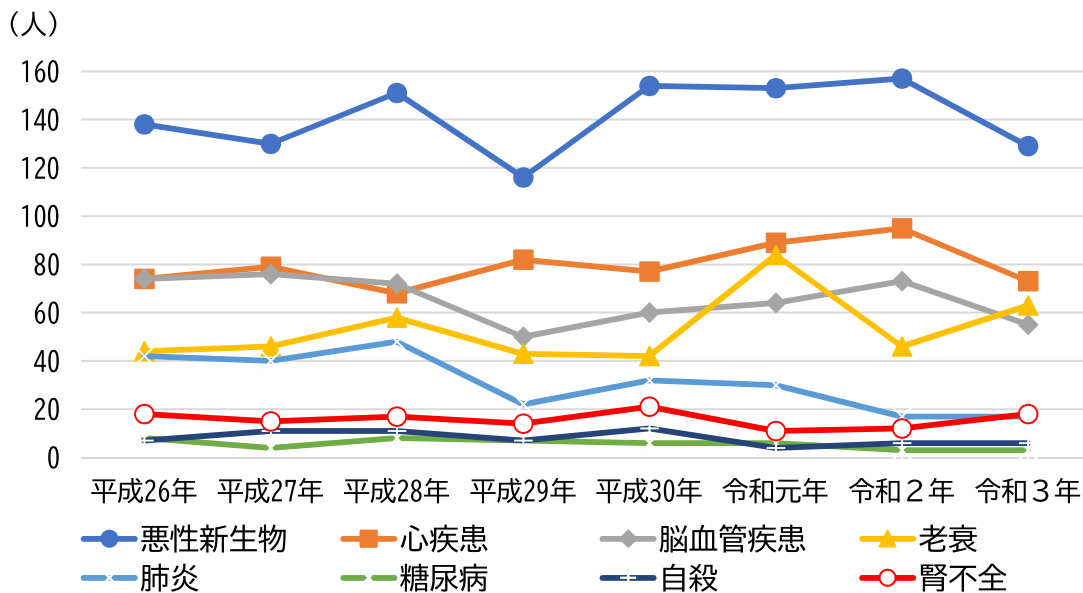
資料：KDBシステム「S21_001_地域の全体像の把握（H30-R04年度分）」、
国立保健医療科学院ツール（健康寿命（平均自立期間）等の見える化ツール Ver. 2.0）

平均寿命と平均自立期間は、全国、静岡県及び同規模の自治体と比較すると、男女ともに上回っており、年次推移をみると令和3年度まで年々延長し、その後は横ばいとなっています。

¹ 平均寿命：0歳における平均余命をいいます。平均余命とは「各年齢の者が今後何年生きられるか」という期待値のことです。
² 平均自立期間：0歳における平均自立期間をいいます。日常生活が自立している期間の平均であり、介護受給者台帳における「要介護2以上」を「不健康」と定義して算出しています。

3 死亡の状況

(1) 死因別死亡数の年次推移 (図表2-6)



資料：人口動態統計（平成26年～平成28年、各年12月末日現在）
静岡県人口動態統計（平成29年以降、各年12月末日現在）

死因別死亡数は、「悪性新生物」が最も多く、次いで「心疾患」、「脳血管疾患」、「老衰」がそれぞれ多くなっています。令和2年から令和3年にかけて、「悪性新生物」、「心疾患」、「脳血管疾患」は減少していますが、「老衰」、「腎不全」が増加しています。

(2) 男女別死因の状況 (令和3年) (図表2-7)

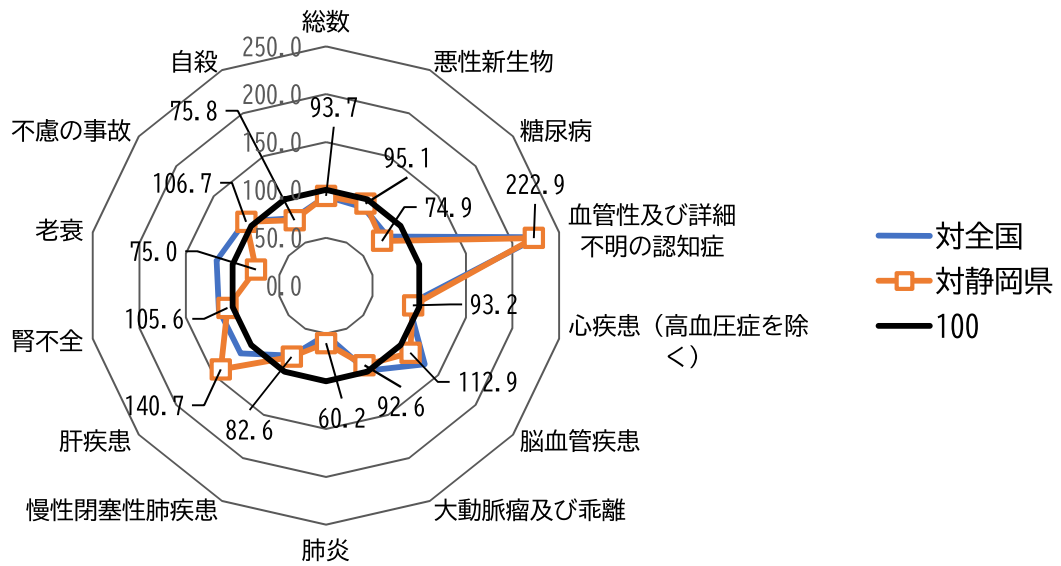
		第1位			第2位	第3位	第4位	第5位
		部位1位	部位2位	部位3位				
湖西市	男性	悪性新生物			心疾患	脳血管疾患	老衰	腎不全
		肺	大腸	膵				
湖西市	女性	悪性新生物			老衰	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤及び乖離、不慮の事故
		乳房、大腸		肺				
静岡県	男性	悪性新生物			心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎
		肺	大腸	胃				
静岡県	女性	悪性新生物			老衰	心疾患	脳血管疾患	肺炎
		大腸	肺	膵				

資料：静岡県人口動態統計（令和3年12月末日現在）

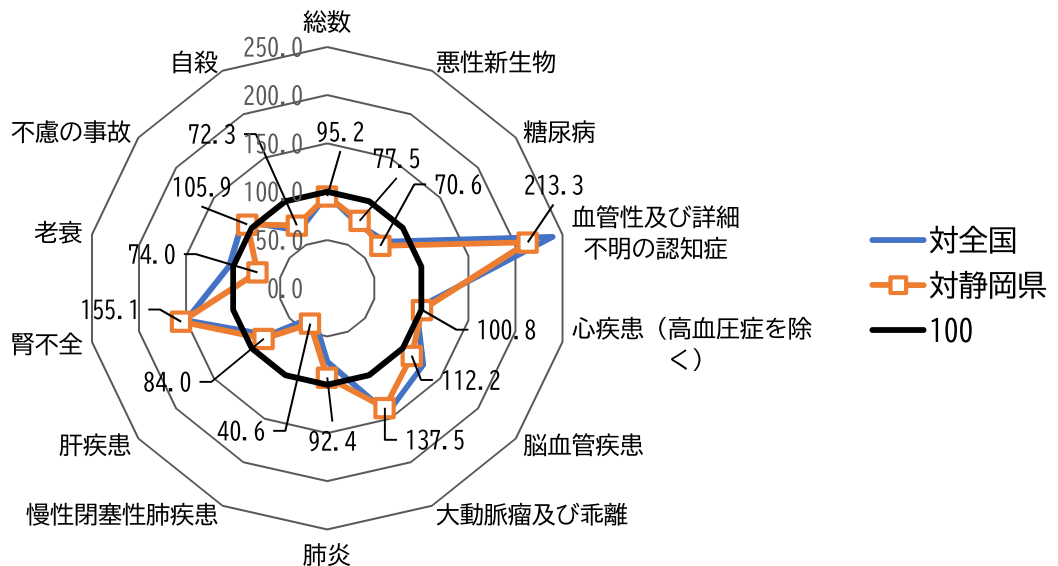
令和3年の死因別死亡数の順位をみると、男女ともに「悪性新生物」が多く、「心疾患」、「脳血管疾患」が上位に入っています。静岡県と比較すると、第5位の死因に男性では「腎不全」、女性では「大動脈瘤及び乖離」、「不慮の事故」があります。また、「悪性新生物」を部位別にみると、男性では「肺」が、女性では「乳房」と「大腸」がそれぞれ最も多くなっています。

(3) 湖西市の標準化死亡比（平成29年～令和3年）（図表2-8）

【男性】



【女性】



資料：静岡県市町別健康指標 (Vol. 31) (静岡県健康福祉部健康局健康政策課)

平成29年から令和3年の全国に対する標準化死亡比³ (SMR) について、基準を100とした場合、男女ともに「血管性及び詳細不明の認知症」、「脳血管疾患」、「腎不全」、「老衰」、「不慮の事故」が高くなっています。女性ではさらに、「大動脈瘤及び乖離」が高くなっており、男性では「肝疾患」が高くなっています。

また、静岡県に対する標準化死亡比 (SMR) をみると、男女ともに「老衰」以外の疾患で同じ傾向を示しています。

³ 標準化死亡比：基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、「計算により求められる期待される死亡数」と「実際に観察された死亡数」とを比較するものです。我が国の平均を100としており、標準化死亡比が100以上の場合は我が国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断されます。

4 介護の状況

(1) 令和2年度の主な介護要因（図表2-9）

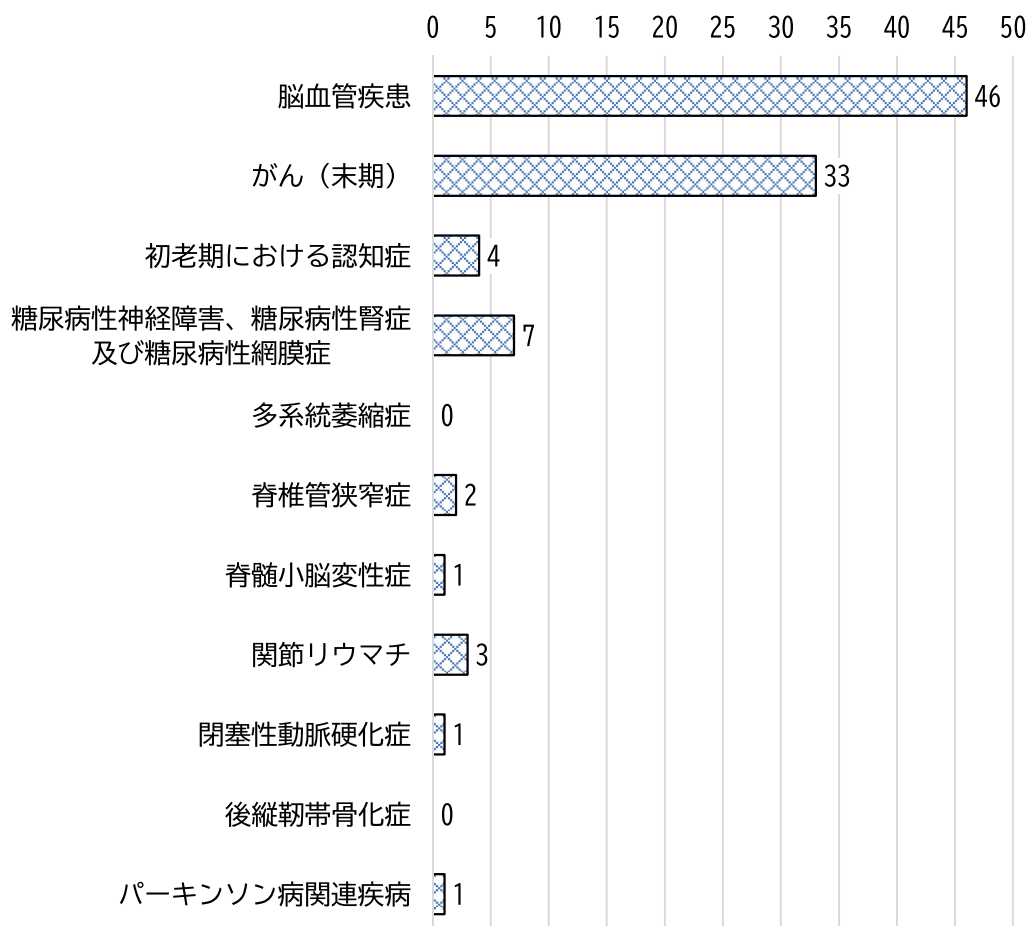
	第1位	第2位	第3位
湖西市	骨折・転倒	悪性新生物	認知症
静岡県	認知症	脳血管疾患	悪性新生物
全国	認知症	脳血管疾患	高齢による衰弱

資料：高齢者福祉課

国・静岡県では「認知症」次いで「脳血管疾患」が多いのに対し、本市では「骨折・転倒」が最も多く、次いで「悪性新生物」が多くなっています。

(2) 介護保険2号被保険者（40歳から64歳）の介護要因（図表2-10）

平成30年度～令和4年度 2号被保険者 認定時疾病区分 (人)



資料：高齢者福祉課

平成30年度～令和4年度の本市の介護保険2号被保険者の介護要因について、「脳血管疾患」が46人で最も多く、次いで「がん(末期)」が33人となっています。

5 特定健診結果の状況（令和2年度）

令和2年度の特定健診結果⁴を静岡県と比較すると、男性では脂質異常症有病者⁵が有意に低くなっています。一方、尿蛋白（+）以上者が有意に高くなっています。

女性では習慣的喫煙者が有意に低くなっています。一方、肥満者⁶、糖尿病有病者⁷、尿蛋白（+）以上者の3項目が有意に高くなっています。

結果を全体的にみると、女性に比べ男性の方が各項目の該当者割合が高い状況にあります。県と比較すると女性の方が、標準化該当比⁸が高い項目が多くなっています。

【特定健診結果及び県との有意差】（図表2-11）

有意差結果について

▽▽：有意に低い ▽：低い有意でない ▲：高い有意でない ▲▲：有意に高い

	男性				
	判定可能者数	該当者数	該当者割合	標準化該当比	有意差結果
メタボ該当者	5,451	1,305	23.9	95.5	▽
メタボ予備軍	5,451	904	16.6	101.7	▲
肥満者	5,451	2,750	50.4	98.6	▽
高血圧症有病者 ¹¹	5,492	2,392	43.6	100.3	▲
高血圧予備軍	5,492	686	12.5	103.8	▲
脂質異常症有病者	5,460	3,089	56.6	96.2	▽▽
糖尿病有病者	5,429	750	13.8	97.7	▽
糖尿病予備軍	5,429	738	13.6	100.1	▲
尿蛋白（+）以上者	5,383	334	6.2	142.2	▲▲
習慣的喫煙者	5,585	1,690	30.3	97.1	▽

	女性				
	判定可能者数	該当者数	該当者割合	標準化該当比	有意差結果
メタボ該当者	5,123	412	8.0	99.2	▽
メタボ予備軍	5,123	250	4.9	97.7	▽
肥満者	5,123	1,294	25.3	107.6	▲▲
高血圧症有病者	5,140	1,752	34.1	102.4	▲
高血圧予備軍	5,140	586	11.4	105.8	▲
脂質異常症有病者	5,131	2,834	55.2	101.3	▲
糖尿病有病者	5,090	415	8.2	116.7	▲▲
糖尿病予備軍	5,090	559	11.0	99.4	▽
尿蛋白（+）以上者	4,981	174	3.5	172.4	▲▲
習慣的喫煙者	5,264	358	6.8	84.9	▽▽

資料：令和2年度 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（静岡県）

⁴ 特定健診結果は、静岡県が公開している「特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」の結果を記載しています。また、特定健診結果は、市町村国保・国保組合・共済組合・健保組合・協会けんぽから提供を受けたデータを集計したものととなっています。

⁵ 特定健診における「脂質異常症有病者」：中性脂肪 150mg/dl 以上、又はHDLコレステロール 40mg/dl 未満、又はLDLコレステロール 140mg/dl 以上、もしくはコレステロールを下げる薬服用者。

⁶ 特定健診における「肥満者」：次の3項目のいずれかに該当する者をいいます。①BMI 25 以上で腹囲が男性 85 cm以上、女性 90 cm以上 ②BMIのみ 25 以上 ③腹囲のみ男性 85 cm以上、女性 90 cm以上

⁷ 特定健診における「糖尿病有病者」：空腹時血糖 126mg/dl 以上、又はHbA1c 6.5%以上、もしくはインスリン注射又は血糖を下げる薬服用者。

⁸ 標準化該当比：基準集団（静岡県）での有所見率（何らかの異常の所見が認められた割合）を 100 とした時に、各市町村での有所見率を相対値で表したものです。

⁹ 特定健診における「高血圧症有病者」：収縮期血圧が 140mmHg 以上、又は拡張期血圧が 90mmHg 以上の者、もしくは血圧を下げる薬服用者。

第2章 湖西市の現状